

【教育目標】

- ◎よく考え進んで学ぶ子（知）
- 自分も友だちも大切に作る子・正しく判断し行動できる子（徳）
- 体を鍛え最後までやり抜く子（体）

1【知】
よく聞き、よく考
え、最後までやり
抜く子の育成

2【徳】
思いやりがある子
の育成

3【体】
心身ともに健康で
たくましい子の育
成

4【地域・世界】
ふるさとを愛し、
世界へはばたく子
の育成

教師の成長・開かれた学校づくり・働き方改革

【目指す学校像】

「命を大切にし、命を輝かせ、世の中のために尽くす児童を育成する学校」
○わかる・考える喜び（学習） ○まわりの人に尽くす喜び（生活） ○教師の成長こそ子どもの成長

- 学習基盤の確立
- 指導体制の工夫
- 探究学習とICTツールの活用
- 視野の拡大
 - (1) 日々の授業改善
 - (2) 教科担任制の推進
 - (3) 学習規律の確立
 - (4) 立川市民科の充実
 - (5) ICT機器を活用した授業改善
 - (6) 水泳指導の民間委託
 - (7) 展覧会の実施
 - (8) 読書活動の推進
 - (9) 家庭学習の推進
 - (11) 特別支援教育の充実

- まわりの人に尽くす心
- 感謝の心
- 認める心
 - (1) 命を大切にする教育の推進
 - (2) 各教科の授業の充実
 - (3) 道徳教育の充実
 - (4) 特別支援学級・教室との連携
 - (5) いじめ・不登校への取組
 - (6) 挨拶ができる子の育成
 - (7) 縦割り班活動の充実

- 日常の基盤
- 体育授業の工夫
- 体験の充実
 - (1) 体育授業での体力づくり
 - (2) 運動会の実施
 - (3) スポーツテストの実施
 - (4) 基本的な生活習慣の確立
 - (5) 一校一取組の実施
 - (6) アスリートの招聘

- コミュニティ・スクール（学校）
- 立川市民科の教科化（地域）
- ESD/SDGsの視点
 - (1) 立川市民科「多様性」
 - (2) ゲストティーチャーを招聘した授業
 - (3) 小中一貫教育の活用
 - (4) 持続可能な社会の形成

【保護者の皆様へ】

～学校と保護者は子育てのパートナー～

教育は相反する考えが同時に成り立つ性質をもっています。例えば、「自由にさせることで主体性や創造性を伸ばすという考え」と「規律を守らせることで社会性や集団生活力を伸ばすという考え」は両方とも子どもの成長に必要なことです。

保護者の皆様にとってお子様が何にも代えがたい存在であることを理解しながら、子どもたちの成長に必要なと感じたことを、愛情を込めて取り組みます。ぜひ、このことを信じていただき、パートナーとして支え合う関係づくりに協力していただけるようお願いいたします。

今年度の取り組みについてのお願い

- 1 「あゆみ」（通知表）の所見について
 - ・あゆみ（通知表）は毎学期発行しますが、1学期の総合所見は記入せず、2・3学期に記入します。
 - ・道徳、外国語活動、総合的な学習の時間・立川市民科は年1回記入します。
- 2 卒業アルバムについて
 - ・学習内容と授業時数の関係から、授業内での作成が難しくなっており、内容を精査しながら取り組みます。
- 3 次期学習指導要領に向けて
 - ・今年度中には公示され、その後、周知期間、移行期間に入る見込みです。今後数年は、教育活動の効果や効率を考えた試行錯誤に取り組みます。兄弟の時と違うと感じられるときもあるかもしれません。その際は遠慮なくお尋ねください。